

「2019年度建設系公務員賠償責任保険制度」中途加入受付中!

訴えられたらどうしますか?!



- ・インフラの管理瑕疵で…
- ・入札契約で…

◎ 現在のお申し込みは **3,728名** と 昨年の同時期より多くの会員の皆様が申し込まれています! この保険は、毎月1日付の中途加入をいつでも受け付けています(保険料は月割り計算)。

◎ 全建ホームページ (<http://www.zenken.com/>) の「建設系公務員賠償責任保険制度」をぜひ、ご覧下さい! 2019年度新規パンフレット をご覧いただけるほか、インターネット によるお申し込みができます!! そのほか「よくあるQ&A」も備えています。



＝異動のあった皆様へお願い＝

人事異動等により、地方協会の変更があった場合は、異動先(派遣先)の地方協会において、引き続き全建会員としての入会(継続)手続きを忘れずをお願いします!

また、地方協会や所属など、お申し込み時から変更がありましたら、下記取扱代理店へご連絡ください。

取扱代理店: 建栄サービス㈱ 担当: 竹田 TEL 03-3291-6340 E-mail: kenei-s-hp@kenei-s.co.jp
引受保険会社: 東京海上日動火災保険㈱ 担当: 公務第一部公務第一課 安斉・住田 TEL 03-3515-4122
団体保険契約担当: (一社)全日本建設技術協会 担当: 会員課 春日・露木 TEL 03-3585-4546 E-mail: kaiin@zenken.com

ねえ知ってる?!日本の国土のこと クイズにチャレンジ!

私達が住んでいる日本の国土はどのような特徴があるのでしょうか?

国土についてのクイズを出題します。クイズにお答えいただき、あわせて月刊「建設」の記事についての感想、実施してほしい企画の希望などをお寄せください。正解された方の中から選定のうえクオカード(500円分)を進呈致します。

問題

川が洪水のときに、川の水面よりも低くなる土地のことを「洪水氾濫域」といいます。洪水氾濫域の面積は日本の国土の10%しかありませんが、どのくらいの人口が洪水氾濫域に住んでいるのでしょうか?

1. 日本の人口のおよそ4分の1
2. 日本の人口のおよそ3分の1
3. 日本の人口のおよそ2分の1
4. 日本の人口のおよそ3分の2

※たくさんのご応募をいただきありがとうございます。
ございます。
クイズの正解は次号にて発表します。
お楽しみに!!

公共工事の生産性の
向上の事例が勉強に
なったにゃ



12月号クイズ答え
2. の東京 でした。

(協力: 一般財団法人国土技術研究センター)

1. 応募締切

月刊「建設」最新号到着からその当該月末日まで

2. 解答方法

右下のQRコードをご利用いただくか、全建HPの「ねえ知ってる?!日本の国土のことクイズにチャレンジ!」のパナーをクリックしていただき、解答してください。なお、ご意見・ご感想・お名前をご記入下さい。

※タブレットPC、スマートフォンからも解答できますが、従来型の携帯電話からは解答できません。

※管理の都合上、下記問合せ先(kensetsu@zenken.com)からの応募は対応しかねますのでご遠慮ください。

3. 当選発表

当選された方にはメールでご連絡させていただきますが当選者は全建正会員の方に限定いたします。

4. 問合せ先

一般社団法人 全日本建設技術協会 事業課 峯脇・中嶋
TEL: 03-3585-4546 / Mail: kensetsu@zenken.com

